

能

と

狂

言

の

会

国際交流の夕べ

オンライン配

2022年

12月24日 土

午後2時 配信開始

国際交流基金

公式 YouTube チャンネル

<https://youtu.be/u4tNmSJLaxQ>



能「大会」

片山九郎右衛門 師
観世流



「二人大名」狂言

茂山千五郎 師
大蔵流

あらすじの英語字幕付き

1年間無料配信

能 「大会」

大会とは佛教の大きな法要のことです。ここでは釈迦の説法の法要を意味します。

僧が修行していると、山伏姿に身をかえた天狗が現れ、命を助けてもらった礼に、何でも望みを叶えましようと言います。実は天狗が鳥に化けていたとき、木から落とされ、殺されかけたのですが、この僧によって救われたのでした。僧は、釈迦が靈鷲山で説法する場面を見たいと言い、天狗は望みを叶えると約束しますが、決して信心しないようにと言い、去ります。

天狗の家来が現れ、天狗が命を助けられたいきさつを話します。

さて天狗が釈迦の姿になって現れ、大会を行うと、僧は信心を起こして礼拝します。それを見ていた、佛教を守る帝釈天は、悪い天狗が僧をだましていると、急に現れます。帝釈天に気づいた天狗は慌てて化けていたのが元の姿になり、さんざん責められて詫びをし、消えていきます。

天狗とは佛教を破却するものです。日本では後の時代になると、鼻の高い天狗の顔が一般的になりますが、能の天狗は鼻が高くありません。様々な種類の能の中には、このような御伽噺のような、テンポの早い能もあります。

国際交流の夕べ

能と狂言の会

あらすじ

狂言 「二人大名」

二人の大名が連れ立って京都へ上ります。供を連れずに自ら太刀を持って出かけたので、たまたま通りかかった男に無理矢理太刀を持たせまます。偉そうに接する大名に腹を立てた男は、隙を見て大名に切りかかりまます。立場が入れ替わった大名は丸裸にされて、鶏や犬の真似をさせられてなぶり者にされます。

下克上をテーマにした作品ですが、なぶられている事を忘れた大名は次第に興に乗り、最後は男と一緒に楽しみだします。中世のおおらかさを持った作品となっております。

海外からの留学生や外国人の方々、国際交流基金のフェロー、関西国際センター研修生に、日本の伝統文化にふれていただく機会を提供することを目的として、毎年秋に「国際交流の夕べ-能と狂言の会」を開催しています。より多くの方に舞台をご覧いただくため、2022年度も収録した舞台の公演映像を1年間無料配信いたします。